

【第3報・最終】 名古屋高速16号一宮線 業務プレート区間外走行

- 【発生日時】 2026年7月15日（水） 11：14頃 区間外IC流出した時間
- 【発生場所】 名古屋高速16号一宮線 区間外流出した一宮西春IC
- 【工事件名】 2026年度 名神高速道路 管内維持修繕業務
- 【受注者名】 中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株式会社
- 【概要】 清掃作業（ゴミ仕分け）を行うため、下り線 尾張一宮PAへ向かう途中一宮IC出口において誤って名高速に流入してしまったもの。  
一宮合併料金所ETCレーンを通過後に気づきその場で現金精算を行い名高速を走行した。
- 【時系列】

7/15（水）

11：14 名高速一宮IC入口流入

11：20 頃 作業員が料金所にて現金支払い

8/7（金）

11：31 名古屋支社からメンテ本社へ名高速利用履歴の確認

11：50 頃 メンテ現場代理人より本社保全事業第一部へ報告

11：55頃 メンテ現場代理人より 管内維持修繕業務 保全計画及び料金課（不在）へ報告

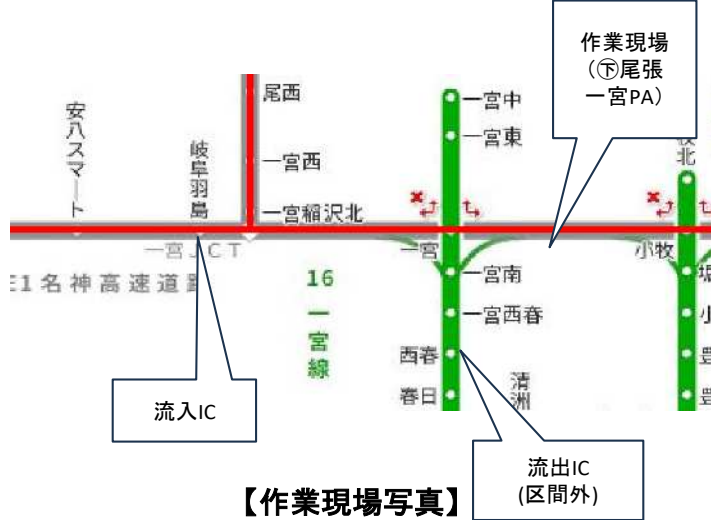
17：00 緊急安全大会実施

8/10（月）

10：40 羽島HSC料金課と処理状況を確認

当日の料金所ETCデータを確認し清算処理をしており、NEXCOとして問題ないことを確認した。

【位置図】



【作業現場写真】



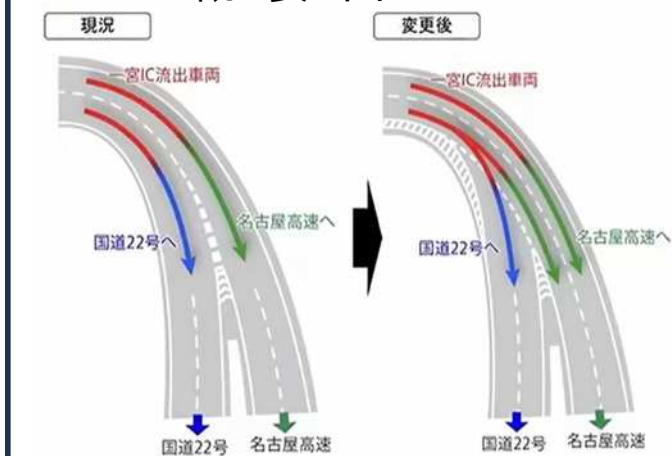
## 【緊急安全大会実施状況】



## 【原因】

- ・7/14日早朝から一宮IC路面標示が変更になり、右車線を走ればそのまま一般道に出れる状況から、さらに車線変更しなければ一般道路へ行けない状況になっていた。そのためいつもの感覚で走行したため名高速入口を通過してしまった。
- ・その場で気がつき現地料金所で精算したため、問題が無いと思った。
- ・運転日報への記載も清算されたと思っていたため一宮ICと記入し、実際の出口とは異なるICを記載した。

## 概要図



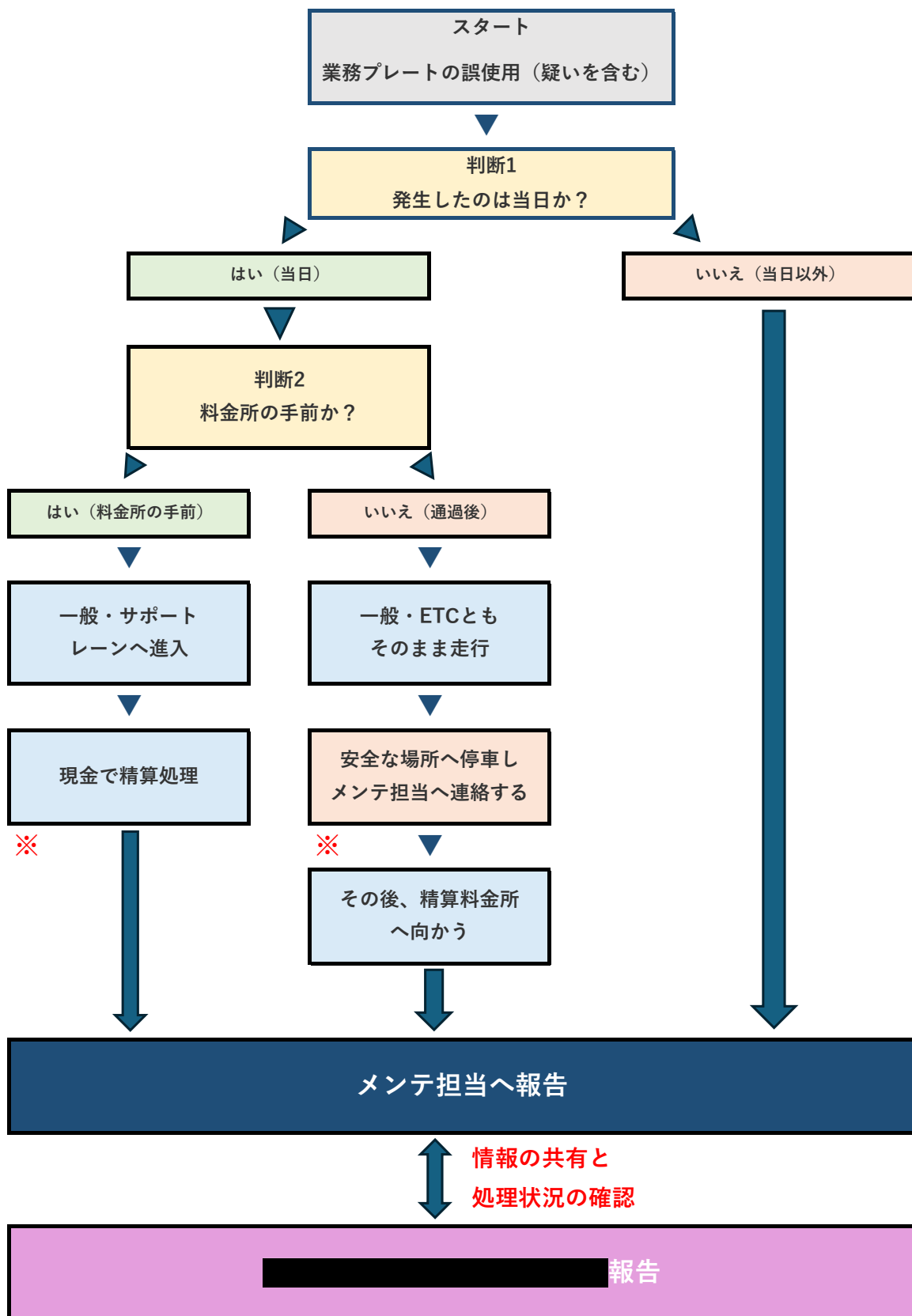
## 概要

左車線と中央車線から流出した2車線が、車線変更せずに名古屋高速を利用できる運用となっている。また、一宮IC出口(国道22号方面)は、右へ分岐する運用に変更となっている。

## 【今後の対策】

- ・路面標示の変更前・変更後の状況を図で説明するとともに掲示し周知する。
- ・問題がないと思っても、それぞれの判断ではなくメンテに報告する。
- ・区間外に気づいた時の処理方法をETC通過前・通過後それぞれで明確化させる。
- ・誤使用時の対応フローを作成し、周知するとともに車両カバンへ収納し携行する。
- ・実際に利用した出口を記入する。(羽島～西春 → 羽島～一宮、一宮～西春)

## 業務プレート誤使用時の対応フロー



※一宮（名高速）は、その後業務プレートを挿入しないこと！  
（走行中にETC情報を拾ってしまうため）